村田知章議員

ホームページの有効活用を!!
「町ホームページの活用について」

近年、インターネットによる情報発信がますます重要になってきている。観光客を誘致するためにもイベントなどの情報をもっとホームページを活用して宣伝すべきではないか。また国際化に向けてホームページを多言語化する考えはあるか。

町長 平成21年度で年間約13万5千件のアクセスがあります。今後もイベントを含む観光情報の充実を図っていきます。外国語(多言語化)に対応したホームページは観光圏において検討しているところです。また町ホームページについては、町内での外国人受け入れの体制がある程度整ってから検討していきます。

各自治体が参加するホームページのランキングに参加し質の向上を目指す考えはあるか。

町長 アンケート依頼があれば内容を検討したうえで判断したいと考えております。

いざという時のために公衆電話の設置を!!
「防災の強化について」

9月1日に防災訓練が行われたが、町内に公衆電話が少ないように思われた。特に役場には1台もない現状で、災害時において対応できるのか。携帯電話が普及したが災害時での脆弱性などの問題もあり、役場や広域避難所などに公衆電話を設置する必要があるのではないか。災害時に特設公衆電話が設置されるが、災害初期の緊急時に間に合わないと思うがどのように考えているか。

町長 NTTの公衆電話の設置基準は、住宅地において半径500m以内に1台、その他の地域では半径1km以内に1台となっています。現在町内には29台設置されています。特設公衆電話の配線は避難所近くまで整備されているので、災害発生時には速やかにNTT職員が設置することになっています。

一般質問

青木　嚴議員

お年寄りの元気向上、健康づくり
「介護を必要とされるお年寄りの支援策について」

当町では第4期介護保険事業計画に基づいて高齢者施策を推進しているが、介護保険事業に対する所見を伺う。

町長 真鶴町は、平成22年4月1日現在、高齢化率が32・16%と県内でも1・2位の高齢化の町であり、介護を必要とする高齢者も増加傾向が続いています。

介護従事者の人材確保については、自宅で介護が必要とする方や高齢者と接する機会のある施設の方々を対象に、認知症サポーター養成講座を開催し、21年度までに79名が受講されており、介護に対する意識の高さがうかがえます。

引き続き介護事業所等と連携を図りながら進めていきたいと考えております。

第4期介護保険事業の各施策の実現について、計画の推進体制を、どのように進めていくのか再度伺う。

町長 介護保険サービスは、ご家族の心労やご苦労を少しでも癒せる場面を、つくることが介護保険制度の目的であります。

ご家族のニーズに合うような方向と連携を、社会福祉協議会をはじめとした、他の町内の施設や団体と協力をはかりながら、サービスを行っていきたいと思います。

また、サービスを利用されていない方にも大きな負担がかかっているわけですから、バランスを考え国の動向を見ながら考えていきたいと思います。

町の高齢化率を考えると、今後、現状の保険料で介護保険事業が賄えるかを伺う

町長 現在の保険料は、この計画に基づき算定していますが不足が生じる場合は、国からの基金等で賄っています。毎年給付額が伸びてきており町の財政に与える影響は大きいものと危惧しています。年金のみで暮らす高齢者が多い町の現状を考えますと、保険料の値上げを図ることも難しい選択です。現在、介護保険料基準額は、月額3,230円で県内では綾瀬市の次に低い基準額となっています。

今後、24年度以降の国の介護保険の動向を見つつ最良の選択ができるよう検討を重ねていきたいと考えています。